

市営交通 中期経営計画（平成 27～30 年度）の中間振り返りについて

平成 26 年度に策定した「市営交通 中期経営計画（平成 27～30 年度）」（以下「本計画」という。）において、「自主自立の経営」を持続し、「信頼と共益の市営交通」を目指して本計画のもとに事業を進めてまいりました。

この度、本計画の計画期間である 4 年間のうち折り返し地点である 2 か年を経過したことから、中間振り返りを実施しました。

1 目標達成状況

(1) 経営目標の達成に向けた指標

No.	項目	事業	4 か年の目標	2 か年の目標と進捗状況		2 か年の累計 (進捗率)
				27 年度	28 年度	
1	安全性の向上	バス	安全重点施策で定める目標値を 4 年連続達成	① 二輪車との接触事故件数の減： <u>17 件以内（前年度比▲10%）</u> 9 件（前年度比▲53%） ② 車内事故件数の減： <u>16 件以内（前年度比▲10%）</u> 20 件（前年度比+11%） ③ 静止物との接触事故件数の減： <u>231 件以内（前年度比▲10%）</u> 253 件（前年度比▲13%）	① 二輪車との接触事故件数の減： <u>8 件以内（前年度比▲10%）</u> 17 件（前年度比+89%） ② 車内事故件数の減： <u>16 件以内（前年度比▲20%）</u> 17 件（前年度比▲15%） ③ 静止物との接触事故件数の減： <u>226 件以内（前年度比▲10%）</u> 271 件（前年度比+7%）	—
		地下鉄	安全重点施策で定める目標値を 4 年連続達成	① ヒューマンエラーに起因する事故・輸送障害の減： <u>15 件未満</u> 16 件（前年度比+1 件） ② 車両・設備の故障件数の減： <u>車両）215 件未満、設備）307 件未満</u> 【車両】 227 件（前年度比+12 件） 【設備】 297 件（前年度比▲10 件） ③ 工事による鉄道運転事故、重大インシデント： <u>0 件</u> 0 件	① ヒューマンエラーに起因する事故・輸送障害の減： <u>15 件未満（前年度比▲10%）</u> 16 件（前年度比±0 件） ② 車両・設備の故障件数の減（前年度比▲10%）： <u>車両）205 件未満、設備）268 件未満</u> 【車両】 194 件（前年度比▲33 件） 【設備】 318 件（前年度比+21 件） ③ 鉄道運転事故、重大インシデント： <u>0 件</u> 0 件 ④ 輸送安全に係わる工事事務件数： <u>5 件未満</u> 0 件	—

No.	項目	事業	4か年の目標	2か年の目標と進捗状況		2か年の累計 (進捗率)
				27年度	28年度	
2	お客様からの評価	共通	お褒め・お礼の 件数 累計 1,000 件	180 件	176 件	356 件 (35.6%)
		共通	市民意識調査 における市政 満足度「バス ・地下鉄の便」 50%以上	48.1%	50.1%	—
3	乗車人員	バス・ 地下鉄 合計	1日あたり 100 万人	97.0 万人	98.1 万人	—
4	利益・収益の還元投資	バス	お客様に向けて 累計 9 億円 地域社会のために 累計 10 億円	お客様に向けて 0.8 億円 ※バス車両・施設の安全 対策など 地域社会のために 3.2 億円 ※市内中小企業への 発注 ※ハイブリッドバス の導入など	お客様に向けて 4.8 億円 ※バス停ベンチ、上屋 の更新、修繕及び新 設など 地域社会のために 2.3 億円 ※市内中小企業への 発注 ※沿線の賑わい創出 の取組など	お客様に向けて 5.6 億円 (62.2%) 地域社会のために 5.5 億円 (55.0%)
		地下鉄	お客様に向け て 累計 291 億円 地域社会のため に 累計 9 億円	お客様に向けて 46.5 億円 ※ブルーライン快速 運転の実施・検証 ※安全対策（さらなる 耐震補強、軌道改良 等）など 地域社会のために 2.5 億円 ※市内中小企業への 発注 ※地下鉄車両、駅照明 の省電力化 など	お客様に向けて 99.5 億円 ※ブルーライン 3000 形車両の新造 ※安全対策（さらなる 耐震補強、シールド トンネル補修工事 等）など 地域社会のために 3.1 億円 ※市内中小企業への 発注 ※地下鉄車両、駅照明 の省電力化 など	お客様に向けて 146.0 億円 (50.2%) 地域社会のため 5.6 億円 (62.2%)
5	利益の確保 (※)	バス	経常利益 累計 40 億円	18.0 億円	15.8 億円	33.8 億円 (84.5%)
		地下鉄	経常利益 累計 350 億円	83.7 億円	93.0 億円	176.7 億円 (50.5%)
6	企業債残高	バス	29 億円	16.8 億円	8.6 億円	—
		地下鉄	3,452 億円	3,852.4 億円	3,716.6 億円	—
7	職員アンケートにおける「やりがい」指標	共通	4.0 点 (5点満点)	3.44 点	3.43 点	—

※「利益の確保」については、平成 29 年 3 月に、バス・地下鉄ともに経常利益の目標額を上方修正。
上記は修正後の数値を記載。

(2) 個別事業の進捗状況（別添資料）

本計画では、経営努力により生まれた「利益」やみなさまから頂いた「収益」を還元するため、「①お客様に向けて」「②地域社会のために」「③地方公営企業としての責任と経営基盤の強化」の3つの視点に沿った81事業を掲げておりますが、平成28年度末時点では、71事業（88%）が目標どおりに進捗しています。

進捗状況	事業数 (全81事業)	割合
目標を上回って進捗している…◎	11	14%
目標どおり進捗している…○	60	74%
目標どおりに進んでいない…△	10	12%

目標どおり
71事業（88%）

【参考：目標どおりに進んでいない事業（10事業）】

	事業名	事業目標	28年度目標に対する進捗状況
1	バス	バス停ポールの固定化	220か所実施 44か所／◎50か所
2	バス	バス教習施設の新設	教習施設の用地確保と工事着手 用地の確保ができていない／◎設計
3	バス	ハイブリッドバス導入	15両 契約不調により未調達／◎5両
4	バス	燃料電池バス（FCバス）導入	試験導入 車両メーカー等との情報交換実施／ ◎導入検討
5	地下鉄	さらなる耐震補強	中柱460本、高架橋320本 163本／◎中柱+高架橋210本
6	地下鉄	関内駅改良工事	29年度完了 契約不調により遅延／◎実施
7	地下鉄	エレベーターのリニューアル	11台更新 2台／◎4台
8	地下鉄	駅トイレのリニューアル	7駅実施 2駅／◎3駅
9	地下鉄	案内サインのリニューアル	12駅実施 1駅／◎3駅
10	地下鉄	駅高所清掃の実施	40駅実施 契約不調により未実施／◎実施

2 中間振り返りにおける進捗状況

本計画に基づく取組を着実に進めてきた結果、「経営目標の達成に向けた指標」については「利益・収益の還元投資」「乗車人員」「企業債残高」のほか、目標を上方修正した「利益の確保」の目標について計画に近い水準で推移しており、着実に進捗しています。

しかしながら、「安全重点施策の達成」については、この2か年で目標の達成に至っておりません。引き続き、安全運行を最優先に取り組んでまいります。

また、「お客様からの評価」については、目標の達成が困難な指標もありますが、接客サービスの向上などに取り組んでまいります。

引き続き計画目標の達成に向けた取組を進め、お客様や地域社会のみなさまに必要とされる市営交通を目指してまいります。

個別事業の進捗状況

【進捗状況】

◎…目標を上回って進捗している	11事業
○…目標どおり進捗している	60事業
△…目標どおり進んでいない	10事業
合計	81事業

1 お客様に向けて

(1) 災害対策①地震に強い地下鉄の実現

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
1	地下鉄	さらなる耐震補強	中柱460本 高架橋320本	中柱120本 高架橋90本	中柱と高架橋合わせて163本を施行	△

(2) 災害対策②雨・雪に強い地下鉄の実現

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
2	地下鉄	浸水防止機の更新	32か所更新	8か所更新	蒔田～上大岡間8か所の更新工事を完了	○
3	地下鉄	3000S形ブレーキ装置改修	8編成実施	4編成実施	3000S形8編成のうち4編成の装置の改良を実施	○

(3) 地下鉄施設の計画的補修

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
4	地下鉄	平沼町シールドトンネル補修工事	下り線完了 上り線着手	下り線施工	施工中	○
5	地下鉄	大江橋シールドトンネル補修工事	30年度 工事完了	工事・施工	施工中	○
6	地下鉄	高架橋高欄部補修工事	新羽出入庫線及び センター南北間29 年度完了	工事・施工	施工中	○
7	地下鉄	軌道改良(塩害対策)	関内～桜木町間完 了・桜木町～高島 町間着手	関内～桜木町間 (上り線)	実施	○
8	地下鉄	駅構内壁面タイル補修 工事	38駅で実施	3駅工事 8駅設計	・8駅の工事について施工中 ・設計は10駅実施	○
9	地下鉄	変電所更新	2か所	1か所完了	上永谷変電所更新を3月末に完了	○
10	地下鉄	信号保安設備更新	2か所(機器室)	1か所完了	・新横浜・片倉町機器室の更新完了 ・戸塚・踊場機器室更新の工事発注完了	○

(4) バス車両・施設の安全対策

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
11	バス	車外向け音声放送装置 の導入	全車(800両)への導 入	400両導入	全車両導入済み	○
12	バス	接近検知警報機器の導 入	小型バス・観光型 バス全車導入	運用	異常なく運用	○
13	バス	車いす固定ベルトの更 新	全車(800両) の更新	200両 更新	『リトラクター方式』の固定ベルトの更新を進めている。28年度末時点で577両に搭載が完了し、新車を含め、702両にリトラクター式の固定ベルトを搭載済み	◎
14	バス	バス停ポールの固定化	220か所 実施	50か所 実施	バス停固定40か所・埋込4か所を完了 <目標220か所中、65か所固定化済>	△

(5) バス教習施設の新設

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
15	バス	バス教習施設の新設	教習施設の用地確 保と工事着手	設計	適地がなく、用地の確保ができていない	△

(6) 安全管理体制の強化

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
16	両事業	安全管理体制の継続的 改善	—	—	・運輸安全マネジメント制度に関する研修を全所属 で実施 ・内部監査実施にあたり、監査員の力量向上のた め、研修の内容を見直し、改善 ・その他、安全報告書の作成・公表、安全リーフレッ ト・ポスターの作成、安全大会の開催、他都市との 意見交換等を実施	○
17	地下鉄	災害対応訓練の充実	—	—	・異常時総合訓練、津波対応訓練実施 ・津波対応マニュアルの実効性についての検証	○

(7)ICTを活用したお客様への情報提供

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
18	バス	バス運行へのICT導入拡大	ICTの活用によるバス運行の安全・サービス向上	構築・運用開始	営業所でのバス運行管理強化を目的としたバス運行管理システムの改善・運用を実施	○
19	地下鉄	ブルーライン車内案内表示システム改修	12編成改修	地上側設備増設	ブルーライン車内に他鉄道の運行情報などの表示を可能とするため地上側設備を増設	○
20	両事業	多目的デジタル案内板の設置	横浜駅バスターミナル・地下鉄主要駅への設置	情報コンテンツ等検討	情報コンテンツ・システム構築及び設置作業が完了	○

(8)バスの利便性を高めるダイヤ改正

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
21	バス	バスの利便性を高めるダイヤ改正	40路線の改善	10路線改善・検証	36路線でダイヤ改正を実施	◎

(9)ブルーライン快速運転の実施・検証

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
22	地下鉄	ブルーライン快速運転の実施・検証	速達化と利便性向上	検証・ダイヤ改正	検証を実施し、土休日の快速運行時間帯について、9時30分～16時から9時30分～20時30分に延長(29年3月)	○

(10)グリーンライン輸送力増強の検討

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
23	地下鉄	グリーンライン輸送力増強の検討	—	—	混雑緩和対策について検討中	○

(11)他鉄道路線との連絡運輸の拡大

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
24	地下鉄	連絡定期券の発売範囲拡大	発売範囲の拡大	機器改造	29年4月からの東京メトロ線の発売範囲拡大に向けた機器改造を完了	○

(12)乗車券制度の見直しとサービス拡充

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
25	バス	分かりやすい乗車券制度の検討	—	—	通学定期、シニアパス、短距離定期券、回数券等の取扱いについて見直し(30年3月実施予定)	○
26	バス	定期券発売所の発売体制見直し	—	—	鶴見駅東口定期券発売所は、バスターミナルの整備完了に伴い、12月にターミナル内の局施設に移転し営業を開始	○
27	地下鉄	乗車券制度の見直し	—	—	通学定期の値下げを30年3月に実施予定	○

(13)駅構内店舗の開発と活性化の推進

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
28	地下鉄	駅構内の開発推進	新規3店舗の開店	1店舗開店	桜木町駅構内に、新たに1店舗が開店	○
29	地下鉄	駅構内店舗の活性化	魅力あふれる駅ナカ店舗の仕組みづくり	検討・実施	パートナーシップ事業の枠組みにより、宅配ロッカーを設置	○

(14)バス停ベンチ・上屋の計画的更新、修繕及び新設

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
30	バス	バス停ベンチの計画的更新、修繕及び新設	更新及び新設計80基	更新・新設20基	28年度更新27基・新設6基<累計更新47基・新設18基>(その他修繕22基済)	◎
31	バス	バス停上屋の計画的更新、修繕及び新設	更新及び新設14か所、修繕40か所	更新・新設3基、修繕10か所	・更新1基・新設3基・修繕5基 ・他の事業者と費用を按分し、港南台駅・上永谷駅・鶴見駅西口の上屋の更新を実施	○

(15)地下鉄駅の大規模改良工事の実施

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
32	地下鉄	関内駅改良工事	29年度完了	実施	契約不調が続き、進捗が遅れているが、現在施工中で31年度に完了予定	△
33	地下鉄	新横浜駅改良工事	一部完了	実施	換気機械室移設工事及び第5出入口移設工事を実施中。また、駅改良の基本計画、基本設計を実施中	○
34	地下鉄	上永谷駅改良工事	30年度調査設計	検討	改修範囲・内容について検討中	○

(16)地下鉄駅設備のリニューアル

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
35	地下鉄	エスカレーターのリニューアル	9台更新	2台更新	関内駅において、27年度更新予定の2台分を併せ、4台のエスカレーターを更新完了	○
36	地下鉄	エレベーターのリニューアル	11台更新	4台更新	・2台更新完了(センター北駅) ・2台契約締結(関内駅市庁舎側) ・2台設計完了(戸塚駅)	△
37	地下鉄	駅トイレのリニューアル	7駅実施	3駅実施	2駅工事完了(三ツ沢下町、あざみ野)。関内駅は、関内駅改良工事の契約不調により発注が遅れ、28年度内に工事着手ができなかったため、31年度までの完了を目指す	△

(17)地下鉄駅の冷房化

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
38	地下鉄	地下鉄駅の冷房化	13駅実施	2駅実施	2駅(仲町台、踊場)で冷房付待合所の工事完了	○

(18)分かりやすく、使いやすい駅の実現

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
39	地下鉄	案内サインのリニューアル	12駅実施	3駅実施	・1駅工事完了 ・5駅設計完了	△
40	地下鉄	駅高所清掃の実施	40駅実施	10駅実施	契約不調により未実施	△
41	地下鉄	駅ベンチの新設・更新	順次実施	新設・更新	上大岡駅とあざみ野駅のコンコースにベンチを新設	○
42	地下鉄	駅掲示物の効果的配置	順次実施	実施・検証	各駅に掲示板及びポスターパネルを設置。各駅と本庁が使用状況を共有できるよう、システムで管理している	○
43	地下鉄	駅のおもてなし充実	お客様へのご案内充実	試行実施	ステーションアテンダントを、27年度に横浜駅に導入し、28年10月からは新横浜駅と桜木町駅に拡大し、お客様への案内の充実につなげた	○

(19)ブルーライン3000形車両の新造・改修

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
44	地下鉄	3000形5次車の製造	28年度投入	完成・投入	3000形5次車は、29年3月23日に完成。3月24日から4月7日まで乗務員への取扱い教習等を行い、4月9日に本線に投入した	○
—	地下鉄	3000A形車両の改修	3編成改修	発注	3000A形車両の改修から、新車(3000V形2次車)の製造に事業方針を変更	—

(20)お客様の立場に立った更なる接遇の向上

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
45	両事業	お客様の立場に立った更なる接遇の向上	—	—	【全職種共通】 各職種ごとの業務内容等を踏まえ、基礎となる接遇研修を実施したほか、28年度からは「外国人へのおもてなし」を研修の中に一部取り入れた 【職種別】 地下鉄駅職員においては階層別、バス部門においては営業所責任職や意欲的な乗務員を対象に、より専門的な内容で研修を実施	○

(21)低床バスの完全導入

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
46	バス	低床バスの完全導入	全車両低床化(18両導入)	11両導入	小型ノンステップバス14両導入済み	◎

(22)乗り換え動線の円滑化

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
47	地下鉄	乗り換え動線の円滑化	あざみ野駅完了・横浜駅着手	あざみ野工事	あざみ野駅は、計画より1年前倒しでエスカレーター設置工事が完了した。横浜駅は、隣接ビル事業者とスロープ設置について協議中	◎

2 地域社会のために

(1) 環境にやさしいバスの導入

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
48	バス	ハイブリッドバス導入	15両	5両	契約不調で5両の導入目標は未達成	△
49	バス	燃料電池バス(FCバス)導入	試験導入	導入検討	FCバス、水素ステーションの視察や車両メーカー等との情報交換を実施	△

(2) 地下鉄車両の省電力化

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
50	地下鉄	地下鉄車内照明のLED化	BL:25編成 GL:15編成	BL7編成	3000R形車両7編成完了	○

(3) 地下鉄駅照明の省電力化

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
51	地下鉄	駅照明の省電力化	10駅実施	4駅実施	4駅の駅照明LED化工事を実施	○

(4) 地下鉄湧水の活用

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
52	地下鉄	地下鉄湧水を区役所で利用	区役所への湧水供給開始	利用開始	地下鉄湧水の港南区総合庁舎での利用を開始	○

(5) 地域貢献型バスサービスの実施

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
53	バス	地域貢献型バスサービスの実施	新規2路線実施	検討	27年度から「脳卒中・神経脊椎センター巡回シャトルバス」を、28年度から「聖隷横浜病院循環」バスを運行し、目標である2路線を前倒しで達成	◎

(6) 市内中小企業振興に向けた取組

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
54	両事業	市内中小企業への発注	累計8億円	2億円	28年度の発注実績4億5,241万円	◎

(7) 沿線の賑わい創出の取組

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
55	両事業	商店街等との連携	—	—	<沿線商店街の魅力の情報発信> ・交通局広報誌「ぐるっと」の活用 ・「ガチあげ！」広報協力 ・ケーブルテレビオリジナル番組、FMヨコハマとのタイアップ番組を放送	○
56	両事業	広報誌のリニューアル	—	—	隔月(6回/年)発行で、バス・地下鉄沿線のおすすめスポット、イベント、グルメ情報、商店街情報を紹介することで、沿線の賑わい創出に貢献。また、沿線観光施設などに配架場所を拡充	○

(8) 新羽車両基地の有効活用の推進

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
57	地下鉄	新羽車両基地高架下・屋上の有効活用	年間貸付料5,000万円	事業化推進	公募を実施し、12月に事業予定者を決定	○

3 地方公営企業としての責任と経営基盤の強化

(1) 観光・MICE振興などと連携した観光誘客の促進

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況
58	バス	あかいくつの利便性向上	回遊性向上に向けた運行ルート見直し	検証・検討	計画上29年度実施予定だった2つの観光バス(あかいくつ・横濱ベイサイドライン)の一体見直しを更に発展させた再編計画を、10月に前倒して実施 ◎
59	バス	横濱ベイサイドラインの収支改善	コースの見直し	検証・検討	計画上29年度実施予定だった2つの観光バス(あかいくつ・横濱ベイサイドライン)の一体見直しを、10月に前倒して実施した。横濱ベイサイドラインは9月30日で運行終了し、新たにぶらり観光SAN路線の運行を開始した ◎

(2) 高速鉄道3号線延伸の検討

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況
60	地下鉄	高速鉄道3号線延伸の検討	—	—	交通政策審議会答申を踏まえ、30年度末の本市としての事業化判断につなげるため、事業候補者として、鉄道事業者の視点で検討の深度化に着手 ○

(3) 地下鉄横浜駅改良計画の策定

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況
61	地下鉄	地下鉄横浜駅改良計画の策定	—	—	横浜駅改良計画の策定に向け検討中 ○

(4) 乗車料収入の確保・増収対策

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況
62	バス	営業力の強化	利用状況の分析と営業活動の強化	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・観光路線再編の一環として、行先がひと目で分かるようバスにフルラッピングを施し「ぶらり観光SAN路線」の運行を開始 ・観光客をターゲットにした営業活動に重点を置き、市内ホテル28か所に路線マップ(日本語版・英語版)を配布、ポスターを首都圏民鉄13社、ホテル、観光案内所等に掲出しPR ・多客時に桜木町駅バスターミナルでみなとぶらりチケットを販売し、バス部門での売上が増加(28年度累計15,949枚、前年度比53.1%増) ・ICカードのコンビニチャージ利用促進を目的に、市内コンビニ4社(市内740店舗)でポスターを掲出、1社(市内231店舗)でレジ横POS画面に表示して広報を展開 ○
63	両事業	タイアップ企画等の展開	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・地元プロスポーツチームとのタイアップ ・沿線企業などとのタイアップ タイアップに合わせたオリジナルデザインの企画乗車券の発売ほか ○

(5) 貸切バス事業の収入確保

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況
64	バス	貸切バス事業の収入確保	収入確保	車両更新	貸切登録車両を3両増車し、大幅な増収となった ◎

(6) 附帯事業収入の確保・増収対策

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況
65	両事業	低未利用地・高架下の有効活用	25年度決算比15%増	事業化推進	センター南北高架下について、新規に店舗が開店。他の区画においても飲食・ダンススタジオ等複合施設が開店予定 ○
66	両事業	広告事業の媒体価値向上	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜駅デジタルサイネージ事業開始 ・バス車内デジタルサイネージ広告のエリアを拡大 ・アドボード3か年設置計画を策定、9駅に設置 ・地下鉄ドア横広告枠のB3定型サイズ化を前倒しで実施し、媒体価値を向上させた ○

(7)バス事業の競争力強化と持続可能な経営

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
67	バス	バス路線ネットワークの充実・見直し	充実・見直し	検討・実施	観光系バス事業の再編・強化の一環として、行き先が一目で分かるラッピングバスによる「ぶらり観光SAN路線」の運行を開始	○
68	バス	新たなバス交通の導入検討	導入検討	導入検討	連節バスの運行事業者として、導入に関する課題の検討を実施	○
69	バス	バス運行委託の継続及び委託路線の拡大	—	—	30年2月の委託継続に向け公営で委託を実施している他都市の動向について、関係都市と情報共有	○

(8)戦略的広報の推進

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
70	両事業	戦略的広報の推進	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・局として効果的な広報展開を検討するために広報戦略会議を毎月実施 ・広報重点事業を年度初めに選定し、PRを計画的に実施。ぶらり観光SAN路線などの観光事業の情報を、メディアや観光情報サイトへ提供し、掲載媒体増加を図った ・新たな広報手法として宣伝用写真素材蓄積を進め(年5回)、地元メディアと連携してPR動画を制作(年4本) ・局事業を紹介するツールとして局事業案内を制作した ・局職員向けに、広報研修を実施し、広報のマインドや技術を醸成した 	○

(9)業務用タブレット端末の活用

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
71	両事業	業務用タブレット端末の活用	320台導入	80台導入	地下鉄運行に関するシステムを構築し、タブレットでの運用を29年度内に開始予定	○

(10)市営交通グループの競争力強化

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
72	両事業	関連団体の見直し	重複業務の見直し	一部実施	協力会と横浜交通開発(株)で重複している業務について、一部見直しを実施	○

(11)バス・地下鉄事業を担う人材の育成と確保

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
73	バス	バス直営車検の拡大・工場建設	直営車検工場建設	基本設計	基本設計完了	○
74	地下鉄	駅務機器の研修環境の整備	研修環境の整備と習熟度向上	実施	IC研修室の現地状況について調査するとともに、研修に必要な備品を調達し、研修環境の整備を図った	○

(12)職員の健康管理の増進・職場環境の改善

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
75	両事業	職員の健康管理	健診等事後フォローの充実及びメンタルヘルス体制の整備	—	秋の定期健診事後フォローとして、特定保健指導及び保健師による個別指導を実施。地下鉄運転士向けの研修等の機会を捉えた集団指導を実施。メンタルヘルス体制の整備としては、ストレスチェック、結果説明会、個別カウンセリングを実施	○
76	バス	営業所施設の計画的修繕	完全分煙化及び計画的修繕	屋内禁煙の実施	28年度目標の屋内禁煙については、27年度に前倒して実施済	◎
77	地下鉄	女性職員が働きやすい職場環境の整備	—	—	あざみ野駅の女性職員施設を整備した。また、2駅(阪東橋、中川)の女性職員施設の設計が完了し、29年度に着工予定	○

(13)コンプライアンスの更なる徹底の推進

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
78	両事業	公金の取扱や適正な事務処理に対する職員意識の向上	—	—	<p><公金管理> 金庫管理、重点テーマ(遺失物等)による公金監査の実施報告、各本部プロジェクトによる公金等(乗車券類等)の管理状況の調査報告など、2か月に1度の委員会を定期的に開催し、職員意識の向上につなげた</p> <p><適正な事務処理> 自主点検を含め、局内全所属で内部監察を実施した。内部監察での指摘内容等を局内で共有し、適正な事務処理の徹底強化を図った。また、局内で研修を実施し、事務手続き手順の再確認を図った</p>	○
79	両事業	コンプライアンスの推進に向けた実効性確保	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス推進委員会(毎月1回)、公金等管理検討部会(2か月に1回)を開催。 収入金誤差や事務処理ミスなどの原因・再発防止策を議論。また、再発防止策が機能しているかを確認 ・バスドライブレコーダー映像を活用した乗務員の料金收受状況を確認(1人当たり1回/年) ・各所属での職員に対する研修の質向上のため、責任職向け研修を実施(9月)。その後、全所属で不祥事防止研修を実施 	○

(14)組織風土改革

No.		事業名	事業目標	28年度目標	進捗状況	
80	両事業	職員提案制度の活用	—	—	アイデア提案件数:42件	○
81	両事業	自主企画事業支援制度の活用	—	—	現場からの提案を募集し審査した結果、6件の事業化を決定	○